



八千代市郷土歴史研究会
会長 村田一男
事務局 八千代市勝田台3-24-10 牧野方

*****お知らせ*****

6月11日(金)~12日(土) 1泊研修旅行
「飯綱信仰の源流と一茶の故郷を訪ねる」

・コース：勝田台北口出発～戸隠神社奥社・
中社(長野市戸隠)～飯縄神社里宮(富田)、
一茶記念館・俳諧寺(信濃町)、

・戸隠今井旅館(tel 026-254-2039)泊

・募集人員：40名(費用振込み到着順で〆切)

・費用：25,000円 郵便振替でお願いします
(大型観光バス使用、1泊4食・飲み物付き)

郵便口座：「00200-0-0116486」

加入者名：「トラベルアンドウ」

・ツアーリスト：トラベル安藤(tel047-398-8849)

7月11日(日)例会

・午後1時～4時 八千代市立郷土博物館
・情報交換・研究発表分担・資料学習ほか

8月22日(日)例会

・午後1時～4時 八千代市立郷土博物館
・情報交換・原稿調整打合せ
・通信71号発行

9月5日(日)運営委員会&例会

・八千代市郷土博物館
・午前10時～12時 拡大運営委員会
・午後1時～4時 例会
・調査内容・展示作品決め・原稿締め切り
機関誌編集等打合せ
・運営委員会も、会員はどなたでも参加歓迎

5月18日(火)「佐倉道を歩く」の打合せ

⇒P5 参照

6月25日(金)東京成徳大学公開講座
郷土史研会員が講演

13:00～14:30 東京成徳大学101教室

「房総地域文化研究プロジェクト」特別講義
「地域研究から見える八千代の歴史Ⅲ」

- ①「明治と昭和、若くして散った二人の千葉女高生」 佐久間弘文会員
- ②「『萱田村』絵図を読み解く」滝口昭二会員

☆☆☆☆ 報告 ☆☆☆☆

4月17日(土)

平成22年度定期総会は、八千代市立郷土博物館にて 有意義に終了しました。

＝平成22年度定期総会の報告＝

会則の会員数(69名)の1/2以上の40名の会員の出席(他に11名委任状提出)で成立し、平成22年度の活動計画や予算、新役員などが決まり無事終了しました。

(1)平成21年度の活動と課題の報告

1. お詫びと訂正「史談八千代34号83ページ掲載の経緯
2. 「1%助成金制度」出願延期、市民活動を拡大し財源確立の自助努力をする。
3. 正覚院文書の整理・解説・有志による例会
4. 千葉県郷土史研究連絡協議会フォーラムへの参加報告
5. 「旧萱田村総合研究」今までの取り組み
 - ① フィールドワーク2回(12/13・3/14)
 - ② 講演会「考古学から見た萱田地区概要」2月20日、朝比奈竹男氏

- ③ 萱田地区区長さんほかへ 調査・研究のあいさつ
- ④ 八千代市外の史料調査
- ⑤ 沼津市明治史料館 印西市教育委員会所管の史料調査（絵図 2 枚萱田町）
- ⑥ 飯綱神社での萱田上・下合同花見会
4月3日（日）

(2) 平成 22 年度 主な事業予定

近日中の予定は前ページをご覧ください。

- 1. 研究課題・旧村の今「旧萱田村総合研究 I」
- 2. 文化祭展示発表・『史談八千代』35 号発刊
- 3. 「郷土史研通信」発行（年 4 回）
- 4. 八千代八福神めぐり・歴史ウォーク
- 5. 市内社寺奉納俳句碑等悉皆調査（継続）
- 6. 博物館事業・その他必要な活動への協力
- 7. 博物館蔵等古文書解読研究
- 8. 佐倉道」を歩く（10～12 月）⇒ p 5 参照

(3) 平成 22 年度 予算

- 1. 市補助金 3 万円復活により平年通り予算組み込み承認。
- 2. 年会費は例年通り 3 千円に決まりました
- 3. 「1%助成金制度」は出願延期しました。
- 4. 市民活動を拡大し、財源確立の自助を努力する。

(4) 新役員の承認

会長：村田一男

副会長（事務局長）：牧野光男

会計：園田充一・藤本早苗(新)

会計監査：田宮達夫・佐藤二郎(新)

顧問：石井尚子・平野寿子

総務・通信担当：蔵由美・関和時男

総務プロジェクト：佐久間弘文・

齊藤君代（やちよ市民活動サポセン担当兼務）・

平塚胖（機関誌編集担当兼務）

機関誌編集担当：畠山隆・羽計一宏・

増田俊幸・成瀬摩希子

調査担当：小菅俊雄・齊藤正一・滝口昭二・

菅野貞男(新)

やちよ市民活動サポートセンター担当：田村勲

(5) 萱田に関する学習会

- 1. 文献に見る萱田 菅野貞男会員
考古学資料・中世文書・近世文書
- 2. 萱田村年表 村田一男会長
- 3. 萱田村と萱田町について 滝口昭二会員
「萱田」地名考・「萱田村」と「萱田町」
萱田村絵図・萱田周辺の地形
- 4. 「萱田村の屋号」佐久間弘文会員
総会の後、午後 1 時から、以上 4 氏の講演があり、「萱田」についての学習を行った。

萱田に関する多角的な資料調査報告

村田一男

「旧萱田村総合研究」はすでに昨年 12 月の「萱田村」フィールド・ワークから始まり、2 月の「萱田遺跡群」の学習会、3 月の再フィールド・ワークと学習活動を重ね、4 月総会後の学習会では「文献に見える萱田村」・「萱田村年表」・「萱田」と「萱田村」の地名・「萱田村の屋号」を総合研究の基礎的情報として学習したところである。

一方、八千代市内に存在する史料以外に市外市周辺の市町村に存在する関係史料調査が必須である。調査が進行したものについて総会では簡単な報告しかできなかったため、改めて報告します。

・沼津藩史料調査（3 月 10 日、前夜から暴風雨、晴れ、強風 調査：村田一男）

天保 14 年（1843）の印旛沼堀割普請の 5 大名御手伝普請では、八千代市域を担当したのは沼津藩水野出羽守であった。沼津藩の堀割普請に関する史料は千葉市史や八千代市史、沼津市史等に発表されている以外に使えるものがあるかどうか探してみることに、その後沼津市史調査等において判明したことがないか担当者にお聞きすることであった。

沼津市史関係資料は「沼津市明治史料館」にあり、木口学芸員さんには事前連絡からこちらの閲覧すべてに伝えてくださり、たいへんお世話になりました。

閲覧文書は、沼津市明治史料館所蔵、①地元

諸家文書 ②江原素六関係文書 ③沼津藩士諸家文書 ④『沼津市史通史編近世』のP535にある写真9 印旛沼普請工事の刷り物、ほかに堀割普請に関する刷り物 ⑤青木栄実家蔵「記録」名主伴右衛門 ⑥芹澤茂男家文書 ⑦『沼津資料集成10』（昭和55年）沼津水野藩側用人 水野重教 ⑧沼津史談会 見学資料 昭和49年、以上マイクロフィルムを含む10点を閲覧した結果、既発表の史料以外に使えるものは見当たらなかった。

このほかの沼津藩諸家（例、江戸家老土方縫殿助ほか）の文書調査も行われていないとのことであった。また『沼津市史資料編近世2』所収の①小高家文書、②梶尾家文書について、静岡県函南町町史担当者に問い合わせたところ不詳であった。

・印西市「清田勝家文書」調査

（3月5日・12日、調査：牧野・菅野・村田）
天保期の堀割普請に関する文書を目録から約20点抽出し、文書閲覧をお願いした。

その結果①『下総国千葉群萱田村絵図』 ②『萱田町亀絵図』の2点を市民文化祭発表と「史談八千代35号」に掲載する許可を得た。

印西市教育委員会にはお世話になりました。

この絵図2点は、総会後に滝口会員の解説により興味深く学習したところであります。

2月20日(土) 例会

・午後1時から 八千代市立郷土博物館にて
・八千代市教育委員会の朝比奈竹男氏に「考古学から見た萱田地区概要」と題し講演していただき、22年度の萱田地域調査のための基本的な知識と最新の考古学的な知見を学びました。参加者数は24名でした。

3月14日(日) 例会 報告 旧萱田村フィールド・ワーク(第2回)

新会員を迎え会員34名の参加で、穏やかな晴天の中、長い距離をよく歩きました。

13:00 京成大和田駅前集合（会長から今日の行動行程説明）→小板橋時平神社→「いづ

奈大権現道」道標→萱田三叉路→八千代市民会館→君塚前町長宅→K 塚家墓地 板碑→八千代野球場裏を通り N 岡家長屋門前
14:25 萱田上区公会堂前 吉橋大師 51 番札所 →大日如来堂（宝暦14 申年建立の石仏）
14:45 萱田長福寺（休憩）→
15:15 「おんまわし」（屋号）家（天保14年の印旛沼堀割普請絵図の説明）→
15:50 萱田梵天塚→熊野神社→K 川家奥津城（墓所）→16:30 八千代中央駅解散



4月29日(祝) 一般市民向け行事 報告 第1回歴史ウォーク「萱田村を歩く」

参加者＝一般市民64名、会員34名、計98名
八千代中央駅寺谷津の入り口を望む新緑の台地に集合した98名の参加者は3班に分かれ、八千代市郷土歴史研究会会員の案内で、長福寺・梵天塚・飯綱神社など約4kmを歩き、新緑の歴史ウォークを楽しみました。

なお、この行事運営に向け、打合せ・印刷作業など下記の準備活動を行いました。

第1回歴史ウォークの運営準備

4月20日(火) 午後、やちよ市民サポートセンターにて。13名参加。

21日(水) 午後、八千代郷土博にて、10名参加。配布資料などの検討、打合せ

23日(金) 午前10時～午後2時

八千代郷土博にて、10名参加。配布用資料の調整作業、役割分担の検討など。

24日(土) 配布資料版下の最終調整

27日(火) 資料の印刷作業など、やちよ市民サポートセンターにて。3名参加。

風は強かったが雨は降らず、「昨日なら大変だったね。」などと語り合いながらスタートした第1回歴史ウォーク「旧萱田村を歩く」。

気楽に参加した私と違って、この企画を進めてきたメンバーは天候も気になり、参加者数も気になり、参加者の列が長～くなって説明の声が聞こえなくなってしまうかとなり、逆に横に広がって自動車に接触しないかとなり、本当にいろいろなことが気になって、当日を迎えたことでしょうか。感謝の気持ちいっぱい歩かせて頂きました。

ゆりのき台という新興住宅地の周辺をさまよえば江戸時代の石仏を今でもたくさん見ることができるんだということを、実際に体験させてもらいました。新しいまちといにしへのまち、その共存が、とても面白く思えます。

萱田と萱田町とは全く違うこと、しかも萱田は飛び地がいくつもあること、平安時代の文献に「草田」という地名が出て来るがこれは萱田のことではないかということを確認しました。さらに、菅原道真の敵役である藤原時平を祀った「時平神社」が市内に4つもあること（こんな例はほかに聞いたことがありません。）を知りました。そしてさらに、大日如来は、胎蔵界（密教で説く両部・両界のひとつ。大日如来を慈悲または真理の面から説いた部門）と金剛界（同。大日如来を知恵の面から説いた部門）で印の結び方が違うということ。またまたさらに、出羽三山講の記念碑は江戸時代には湯殿山が真ん中だったが、明治になると月山が中央に書かれるようになったこと。さらにさらに、飯綱神社の本殿外壁に彫刻された「二十四孝」がひとつも欠けておらず、24のすべてを見ることができるということ。実は、これは非常に珍しい例なのだそうです。ちなみに、「二十四孝」とは、中国において、人々が学ぶべきものとして取



り上げた二十四名の人物とその行いを描いたものです。

さて、この飯綱神社にちなみ、八千代市郷土歴史研究会が今年6月11日（金）～12日（土）に「飯綱信仰の源流と一茶の故郷を訪ねる」と題した一泊研修旅行を行うので、早速申し込みました。楽しみにしています。

この日、解散後の反省会にも出席しました。その中で報告されたことですが、参加した多くの方々が、地域を知ることができたと、その喜びを伝えてくれたそうです。地域を好きになるには、まず地域を知ることだと思います。今回の試みは、まずまずの成功と言えるのではないのでしょうか。企画した方々、本当にご苦労さまでした。

さて、今回の参加者は98名ということになっていますが、ほかに子どもが一人いたので、実は99名なんです。100名でなく99名。100名に1名足りないこの数字を聞いて、石工の技を求めて尾道を歩いた時のことを思い出しました。御袖八幡宮の石段は、一段一段が長さ5メートルの一本石によって作られています。ところが最後の54段目（一番上段）だけ、一本でなくつないでいるんです。大林宣彦監督の映画「転校生」で男の子と女の子が転がり落ちて入れ替わってしまうあの美しい石段です。一段だけつないでいる、つまり完成させていないのです。完成の上はないのでわざと外す。職人の心遣いです。今回の99名という数字が、「まだ完成してないぞ。次も頑張れよ」と激励しているように思えたのです。何か、うれしい感じがしました。

3月22日「千葉県郷土史フォーラム」
参加の報告 田村勲

平成22年3月6日、千葉市中央区のQiball（きぼーる）で千葉県郷土史研究連絡協議会による第三回「郷土史フォーラム」が開催されました。県内で活動する11団体、約30名が集まり活発な意見が交換されました。

当研究会から田村が参加し、活動の概要を報告しました。

七草粥を食べる会、野草観察会、ふるさとのガイド会など幅広い参加で活動を進める「酒々井町郷土研究会」、文化関係小グループに120名会員全員が参加、食事会などの交流で会員拡大をはかる「我孫子の文化を守る会」、小中学校の依頼で郷土の歴史学習支援など次代を担う世代の育成をめざす「東庄郷土史研究会」など、たいへん参考になるとりくみが紹介されました。

最後に郷土研常任理事・社会教育家の松井安俊さんから、「趣味の団体、難しい話の団体と思われると集まらない。幅広い会員を獲得するには、楽しい企画や子供を対象にした事業など工夫が必要」との問題提起があり、次回開催を申し合わせ終了しました。

なお報告に立った団体は、大網白里町郷土史研究会、栄町古文書学習会、我孫子の文化を守る会、鴨川市郷土史研究会、八千代市郷土歴史研究会、雨城古文書同好会、東庄郷土



史研究会、富浦郷土研究会、多古町郷土研究会、酒々井町郷土研究会、四街道市郷土史研究会でした。

新事業「佐倉道を歩く」の内容

総会で提示された新事業「佐倉道を歩く」の実施にあたり、実行委員会（10名）が組織されました。

◇委員長 畠山隆

委員 牧野光男 鈴木康彦 滝口昭二
平塚胖 佐久間弘文 蕨由美 藤本早苗
田村勲 村田一男

◇5月18日(火) 第1回 打合せ

・午前10時 志津公民館（043-487-5064）
村田・牧野・畠山・鈴木康彦が参加予定

◇講座名：「佐倉道を歩く」

この講座は1610年（慶長15）土井利勝が佐倉領主となって今年で四百年。佐倉市では「佐倉・城下町400年記念事業」を実施、その一環として佐倉道を取り上げて講演1回と4回に分けて道を歩く。

・参加者は毎回20～25名予定。

◇講演：10月24日（日）山本光正氏
佐倉道全体のお話

◇案内役：八千代市郷土歴史研究会

◇歩く日程：市川の関所から佐倉城大手門までを4回にくぎって案内する。

同じことを水曜日と日曜日の二本立てで実施、したがって4回ずつ計8回行う。

①10月27日(水)と 11月14日(日)

②11月3日(水)と 11月21日(日)

③11月10日(水)と 12月5日(日)

④11月17日(水)と 12月12日(日)

⑤予備日11月24日(水)と12月19日(日)

(12/12は本会例会日)

訃報

深津皓一氏（勝田台南）

深津氏は古くからの会員で、例会ではいつも物静かに活動を見守られておられました。

会費は率先して振り込まれ、会の発展を気にされつつ平成22年2月、薬石効無く他界されました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
会長 村田一男

新道標発見の報告

チ-20

- ・巡拝供養塔
- ・唐破風笠付き角柱型石塔
- ・上部に弘法大師坐像浮彫り
- ・正面（横書き）「奉納経」
（縦書き）「享和三癸亥年／西国秩父坂塔
百ヵ所／四圍八十八所／十月一〇」
- ・右面「下け見川上総道／南馬加江戸みち」
- ・左面「北大和田佐倉道」
- ・台座正面「武石村同行」（左面に先祖の戒
名多数、右面に人名多数列記あり）
- ・千葉市花見川区武石町1丁目真蔵院墓地の
北西角
- ・報告 2010.5.1 蕨 由美



北大和田佐倉道
（左面）



下け見川上総道
（右面）
南馬加江戸みち

E-21

- ・庚申塔 ・駒型 ・文字碑（日月）
- ・正面 「米本城橋道 庚申塔」
- ・右面 「〇高野道 大正十五年三月」
- ・左面 「青菅臼井道」
- ・八千代市下高野八千代病院はず向かい
- ・発見者むつみ街づくり研究会 大土会長
- ・報告 2010.4.19 佐久間 弘文



『八千代の道しるべ』2001年3月発刊に以後に見つかった道標のデータ（八千代市内の道標と八千代市域地名のある市外の道標）を、本紙に随時掲載しています。

（E-21、チ-20は、データ管理用の所在地別ID）

新入会員紹介 敬称略

山岡 正子（八千代台東1丁目在住）

渡邊美智枝（下市場2丁目在住）

宮澤 久史（勝田台2丁目在住）

会員数は、現在69名です。

平成22年度年会費は総会で、例年通りの
3000円に決まりました。

年会費未納の会員は、至急お納めください。

編集後記

今回から通信の編集は、総務プロジェクト及び各役員の方々のご協力で行うことになりました。皆様のご協力を感謝します。

関和・蕨・編集者一同 QWR07752@nifty.com